

#08

ポインタと配列 実習・課題内容

2022 年度 / プログラミング及び実習 III

角川裕次

龍谷大学 先端理工学部

課題・実習の提出先: manaba 「レポート」

manaba 「レポート」の今回の提出先へ提出のこと

注意

- ファイル名は指定の通りにすること
- ファイル形式は指定の通りにすること
- 守られていない場合は採点しない場合がある
(採点作業の軽減への協力を宜しく)

実習・課題: 提出物のファイル形式に関する一般的注意

C 言語ソースコード (プログラムコード)

- ファイル形式: C ソースファイル (.c; ファイルそのもの)
- (不可: スクリーンショット画像や Word に流し込んだものなど)

実行結果スクリーンショット画像

- ファイル形式: 画像ファイル形式 (.jpeg や .png など)
- スクリーンショット取得ツールを使用のこと.
- (不可: デジカメによるディスプレイ撮影画像)

考察文章: プログラム及び実行結果に対する説明と考察

- ファイル形式: テキストファイル (.txt)
- 指定文字数以上の「説明と考察」を書くこと.
- 講義で学んだ C 言語の機能とからめて説明
- (不可: Word や PDF など)
- (不可: ソースコードの「朗読」. 「朗読」は説明や考察でない)

実習

p.293, List 10-9 (配列の要素のアドレスの表示)
の理解・入力・実行・動作確認

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- j08a.c (C 言語ソースコード)
- j08a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- j08a.txt (説明と考察 300 文字以上),

p.295, List 10-10 (アドレスの表示)
の理解・入力・実行・動作確認

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- j08b.c (C 言語ソースコード)
- j08b (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- j08b.txt (説明と考察 300 文字以上),

p.298, List 10-11 (配列の受け渡し)
の理解・入力・実行・動作確認

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- j08c.c (C 言語ソースコード)
- j08c (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- j08c.txt (説明と考察 300 文字以上),

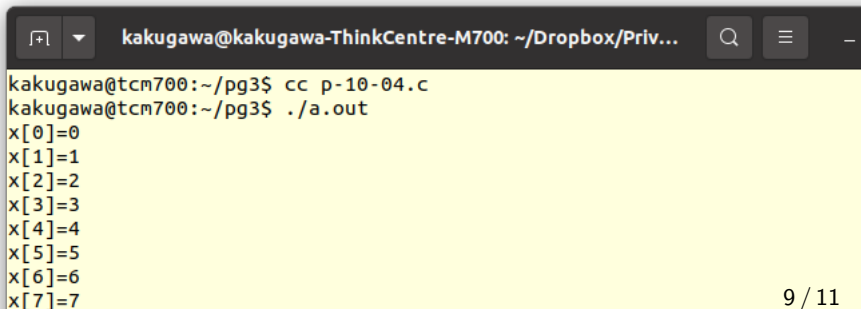
課題

課題

p.299, 演習 10-4

要素型が `int` 型で要素数が `n` の配列を受け取って, 全要素に添字と同じ値を代入する関数 `set_idx` を作成せよ.

- `main` 関数も作成して動作確認



```
kakugawa@kakugawa-ThinkCentre-M700: ~/Dropbox/Priv...
kakugawa@tcm700:~/pg3$ cc p-10-04.c
kakugawa@tcm700:~/pg3$ ./a.out
x[0]=0
x[1]=1
x[2]=2
x[3]=3
x[4]=4
x[5]=5
x[6]=6
x[7]=7
```

課題 (説明のつづき)

提出物: 以下のファイル名で提出のこと

- k08a.c (C 言語ソースコード)
- k08a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)
- k08a.txt (説明と考察 400 文字以上),

ヒント: ソースファイルの超大雑把な構造

```
ヘッダをインクルード
int set_idx(int *v, int n) {
    ここを書く
}
#define N 8
int main(void) {
    int x[N], i;
    set_idx(x, N);

    x の内容を表示するものを書く (動作結果確認用)

    return 0;
}
```

おわり